

世界で広がる自立生活運動と JICA

JICA人間開発部社会保障チーム 小林英里子

2023年6月21日

自立生活センター（CIL）とは？

- 1970年代初頭に米国カリフォルニアバークレーに自立生活運動の拠点として生まれた**障害当事者主体**のサービス機関→障害観の180度転換
- 1986年、アメリカで学んだ人を中心として、アメリカ型CILを参考に、日本でCILの最初となるヒューマンケア協会が設立（東京都八王子市）
- 現在では日本全国に120を超えるCIL
- CILが提供するサービス（※）を利用することにより重度の障害があっても地域で自立して生活することが可能。自立生活の自立は「自己決定による自立」。

※権利擁護に関する活動、各種サービスに関する情報提供、介助者派遣サービス、移送サービス、自立生活プログラム（障害者が地域で自立した生活を送るのに必要な技術を身につけるためのトレーニング）、ピアカウンセリング

自立生活運動の広がり

◆2008～2013年 地域別研修「中米・カリブ障害者自立生活」:

日本の障害者運動の歴史、自立生活運動の理念、センターの運営、ピアカウンセリングと自立生活プログラム、介助者の養成などを学ぶ

→「コスタリカ自立生活推進プロジェクト」(草の根技術協力事業/2013-2016)。コスタリカでの自立生活センター設立、「障害者自立推進法」制定(介助派遣サービスの実現)。同様の動きがボリビアやパラグアイでも。

◆2002年～2019年課題別研修「南部アフリカ地域障害者の地位向上」:

障害者の自立生活運動や交通バリアフリー等について日本の経験などを学ぶ

→「障害者地域自立生活センター設立に向けた人材育成プロジェクト」(草の根技術協力事業/2013-2016)。

同国ハウテン州ヨハネスブルグ市ソウェト地区とエクルレニ市に2カ所の自立生活センター設立。

◆ペルー、パキスタン、モンゴルで草の根技術協力事業(NGOによる提案型事業)による協力:

各国における自立生活センターの人材育成、運営能力強化、他地域への波及のための啓発など。